

# 秋本番！もみじ狩りトリアル

(CMSC仙台 初田昌子)

## もみじ狩りトリアル/CMSC仙台/11月18日

CMSC仙台が年1回主催するダートトリアル。今年は天候に恵まれて、11月18日(日)にオートランド川崎にて開催しました。

40台と参加台数は少なかったトリアルでしたが、2回目ということもあり、当日のコースの設定等の段どりもまずまず。

紅葉をバックに走るギャランVR-4の走りは豪快で、ドライバー達に1トライ目よりも2トライ目と、ドライビングに力を入れさせました。チョット力

が入り過ぎて、下に落ちてしまったエントラントもありましたが、怪我もなく午前中に2トライとも終了。

途中でコース上に、知る人ぞ知る!! 名犬? ラッシー (かくれたオフィシャル犬) が出てきてしまいました。幸いにも大事には致らず、逆にギャラリーには大人気。

寒かったので、お弁当も「いも煮会」方式でおかわり自由の鍋とし、エントラントにも大好評でした。

CMSC山形の小川氏には審査委員で

お世話になり、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。今年もいろいろなことがありましたが、



来年こそはジムカーナを主催しよう—と心に決めたクラブ員たちでした。



# '90年、大活躍のCMSC山形

(CMSC山形 菅野 茂)

## '90年シリーズ最終戦/10月14日、11月4日

10月14日、月山湯殿山スキー場駐車場にて'90シリーズ最終戦のCMSC山形ジムカーナを開催しました。当日は朝から小雨、時々晴れ間という天候でしたが、エントリーは約120台と最後まで盛大に開催できました。

駐車場なのでバイロンコースとしましたが、高速コーナーありスピランありとテクニカルな設定。

三菱車のエントリーが5台と少々寂しかったのですが、当クラブの伊藤禎輝選手、佐藤昭昭選手の2人が、豪快な走りでもCIIクラスで3位と5位に入賞しました。

また、11月4日には、県モータース

ポーツのダートラ最終戦を行い、シリーズ全戦を無事終了しました。

ダートラ部門では、シリーズチャンプが最終戦までもつれ込む激戦が展開され、当クラブではAIIクラスの菅野茂選手とAIIIクラスの杉山敏夫選手がこの最終戦で逆転チャンプをつかみ、有終の美を飾ることができました。

その他では、AIクラスで佐藤昭昭選手が6位、Dクラスで渡辺浩人選手が1位、清水潤選手が2位となりました。またAIIクラスでは鈴木日出明選手、青柳昭選手も上位入賞を果たしています。ジムカーナ部門は、CIIクラスの伊藤禎輝選手がシリーズ2位。

レース部門は、ミラージュレースの小川日出生選手(会長)が、今年もポイントを一人占めして、東北シリーズとフレッシュマンシリーズのダブルチャンプに輝きました。また木村政義選手、東江誠選手、鈴木一彦選手もそれ



ぞれシリーズ3位、5位、6位になりました。小川選手、木村選手の両名は、アメリカ招待の切符も手に入れました。

今年は、クラブ員も若い人が数人入部し、大変活躍した1年でした。

# 近藤選手の今後の活躍に期待

(CMSC香川 白井 修)

## CMSC香川 近藤選手の『'90オールスターダートトリアル』参戦記

私たちCMSC香川のメンバーの往復1856kmの道程をご紹介します。

今回の遠征は、当クラブの6人と車2台、そして他クラブですが、四国地区代表のAIIクラス2台、AIクラス1台の大所帯となりました。総勢11名、車5台が一気に行動するので、各車に無線機を渡し、無線で連絡をとりながらの道中となりました。

当初は、淡路島→阪神高速→名神高速→東名高速→首都高速→東北自動車道という予定だったのですが、阪神高速へ入った途端、工事で渋滞。その後名神高速でも20kmの渋滞に遇い、予定

を変更。東名をやめて中央自動車道を通ることにしました。

中央自動車道から長野自動車道を通り、上田市を抜けて金精峠にさしかかった時、なんと「積雪につきチェーン着装」の電光掲示板。こっちに回ったのは失敗か?と思いましたが、今さら後戻りも出来ず、峠に向かいました。頂上付近では路肩に雪が残っていましたが道路に雪はなく、ホッとしたのも束の間、下りはアイスバーンになっていました。そこは皆、それなりの腕を持っているので何とかクリアし、日光いろは坂で峠族を見物しつつ東北自動車

道へと向かいました。

東北自動車道、矢板北PAで仮眠をとり、その日の本番(すでに午前0時を過ぎていた)に備えました。

そしてA車決勝当日。他のメンバーは初めての丸和に感激し、「四国にももう少しましなコースがあったら!」と口々に言っていました。私は2度目だったので「疲れた」が本音でした。

競技の方ですが、さすがに全国のレベルは高く、近藤選手は最下位に近い下位に止まりました。オールスター出場の経験を活かし、今後の活躍に期待したいと思います。

帰りは、家に着くまで約18時間、疲労と睡魔との戦いでした。

また来年も丸和へ行きたいと思えます。ラリーアートの方々、よろしくお願ひします。ありがとうございました。



# '91年はジムカーナにも積極参加

(CMSC鳥根 国谷益雄)

## CMSC鳥根 '90シーズン参戦レポート

'90年はどうしたことか、結束の固い日本海ラリークラブ連合がガタガタで、当初開催を予定していたイベントが大幅に少なくなってしまいました。

CMSC鳥根としては、'90年は主催をしませんでしたが、今年は3戦の開催

を予定しています。

さて'90年の報告ですが、ダートラ部門で当クラブのギャランが2台もコケてしまいました。一台は再起不能、一台はまだ工事中です。本人たちは元気とやる気だけは充分ですが、なにせ金

が無いもので…。どうか彼らに「愛の手」じゃない「金の手」を差し伸べてやって下さい。

ジムカーナでは、今までオーガナイズ専門であったクラブ員が今年に実際に参加し始め、結果の方もまずまず。

6位入賞という輝かしい戦績もありました。本人たちも、来年からは全戦エントリーすると意気込んでおります。

これからもクラブを発展させ、モータースポーツ人口を増やしていきたいと思ひます。

# 大西康弘選手 (CMSC青森) 初の海外挑戦!

アジアパシフィックラリー選手権『ラリーofマレーシア』参戦記



8月19日、成田発マレーシア行きシートに身を沈め、初の海外挑戦の興奮を抑えつつ、優勝の夢を見ながら日本を出発しました。

今回の参加は、マレーシアの国営企業であるEON社と(株)ラリーアート、そしてタスカ・エンジニアリングの石黒社

長の協力のもとに、プロトンサガ4WD、グループS仕様という、非常に恵まれた体制での参加が実現しました。このページを借り、改めて関係者の皆様に感謝いたします。

さて全国のCMSCメンバーにアジアパシフィックラリー選手権「ラリーofマレ

シア」初挑戦の感想をご報告しましょう。

まず国内ラリーとの大きな違いは、コースの距離とタフさです。アベレージ100km/hを超えるハイスピードとトリッキーな悪路、そして暑さです。

ラリーの結果は、SSIでロス・ダン

カートンに次いで2位、SSIIで3位と順調に進みましたが、続くSSIIIで、判断ミスからフロントタイヤを橋にヒット。ロワアームをちぎられて、あえなくリタイヤとなってしまいました。我が人生最悪の瞬間でした。

しかし今回参加したロス・ダンカートンやロッド・ミレンと比較して、スピードの点では勝てると思えたことは大きな収穫でした。ただ、私には経験が不足していたと痛感しました。

今後、今回の失敗をバネに、次回の「ラリーofマレーシア」に照準を定め、もう一度チャレンジしたいとおもっております。

最後に海外をめざすCMSCのメンバーに一言。ラリーは速さも体力も必要ですが、一番大切なものは集中力、情熱、そしてチームワークです。

世界を目指すドライバーが、次々と我々CMSCの仲間から出て欲しいと願っています。

(CMSC青森 大西康弘)



# CMSC山形、V4に王手!!

'90チャレンジカップ中間ポイント発表(1~11月集計)

'90年度CMSCチャレンジカップもいよいよ大詰め。シーズン後半にかけて、ポイント争いも一層白熱してきました。まずクラブ別ポイントですが、前半

からリードを続ける山形が、1456点でダントツ。2位青森の831点に625点の大差をつけ、V4に王手をかける結果となっています。

個人部門では、ラリー部門、ナビゲーター部門、レース部門ともトップの変動はありませんでしたが、毎年混戦のスラローム部門では、後半戦になっ

て実力発揮の榎田選手がトップに踊り出ており、いよいよ目が離せなくなってきました。

## ●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	256	192	72		520
札幌	—	532	96		628
青森	281	380	170		831
岩手	—	—	—		0
山形	499	528	429		1,456
仙台	15	14	—		29
福島	—	—	—		
栃木	79	43	22		144
群馬	163	328	263		754
埼玉	95	26	116		237
千葉	—	—	—		0
岐阜	160	162	178		500
愛知	1	92	—		93
島根	52	38	77		167
香川	382	218	89		689

## ●ラリー・ドライバー部門

柘 沢 宏 之	青森	170
大 西 康 弘	青森	152
渡 辺 俊 昭	山形	96
船 津 康 一	群馬	73
小 林 正 夫	群馬	70
小 山 和 邦	埼玉	51
杉 本 浩	愛知	50
長 沢 太 郎	埼玉	49
福 原 英 治	青森	46
佐 藤 一 彦	埼玉	44

## ●ラリー・ナビゲーター部門

石 田 隆 雄	青森	162
金 子 誠 司	群馬	62
松 岡 敏 寿	青森	60
今 野 泰 正	山形	46
瀬 々 徹	埼玉	42
小 林 茂 則	帯広	42
永 沢 裕 之	青森	38
伊 吹 浩 明	帯広	32
中 村 洋 次	帯広	27
若 林 和 昭	札幌	23

## ●スラローム部門

榎 田 正 文	岐阜	450
高 竹 優 之	香川	335
荒 井 信 介	群馬	320
千 田 俊 二	札幌	313
宝 田 芳 浩	札幌	290
砂 塚 明 男	山形	238
近 藤 健 司	香川	166
赤 羽 政 幸	山形	146
菅 野 茂	山形	118
杉 山 敏 夫	山形	104

## ●レース部門

小 川 日 出 生	山形	290
木 村 政 義	山形	100
東 江 誠	山形	94
鈴 木 一 彦	山形	69
川 口 法 行	栃木	40
郡 司 義 光	栃木	28
吉 沼 昭 雄	栃木	18
山 口 茂	栃木	16
並 木 松 雄	栃木	16
佐 藤 政 一	仙台	10

## ●ポイントのつけ方

ポイント	リタイアには予選通過も含む											
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A = ラリー……全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ  
スラローム……全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ  
レース……全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ  
B = それ以外の競技会